

### 3 同僚教師による授業評価を生かした授業改善（事例3）

同僚教師による授業評価から授業改善の課題を設定し、授業改善に取り組みました。さらに、取り組みの重点課題に沿って数か月後にも評価を受け、課題の成果を検証するとともに、新たな課題については、その後も継続的に改善に取り組んでいます。

#### (1) 教職10年目研修における、C教諭の「課題研究」の取組

6月	公開授業A + 授業評価 + 授業研究会	Plan Do Check	生徒による授業評価 同僚教師による授業評価	課題の設定
6月～	授業実践	Action	課題解決に向けた取り組み	
11月	公開授業B + 授業評価 + 授業研究会	Plan Do Check	同僚教師による授業評価→課題解決の検証	
11月～	授業実践	Action	課題解決に向けた取り組み	

#### (2) 6月の公開授業における同僚教師による授業評価

6月の公開授業における、同僚教師による診断的な授業評価によって、改善の視点が明らかになりました。

Check

(振り返りシートに貼り出された付箋の記入例)

	学びが成立している点、参考になる点	気になったこと、授業者に聞きたいこと	
導入	範読を聞いて、多くの生徒が難語句の読みを教科書に書き込んでいる。	鉛筆を手に教科書を読む習慣が身に付いている。	生徒自身が語句を調べる場面がない。
展開	授業者の発問や具体例によって、内容を理解しようとしている。		生徒が活動する場面が少ないのでは？ 指名されていない生徒の思考が止まっているのでは？
まとめ	全ての生徒が、板書をよくノートに写している。		思考の流れを整理する板書は？ 本時のねらいがどの程度達成されたか？

授業研究会では、授業者と参観者との間で次のような質疑が行われました。これを踏まえて、C教諭は授業改善の課題を設定しました。

生徒は鉛筆を手にして教科書を読む習慣がついているようですが、どんな指導をしていますか？

難語句は必ずチェックしながら読むようにさせています。

本時のねらいがどの程度達成されたと見取りましたか？

発問に答えた生徒はそれなりに評価できますが、それ以外の生徒がどの程度主体的に考えたかは判断しにくいですね。

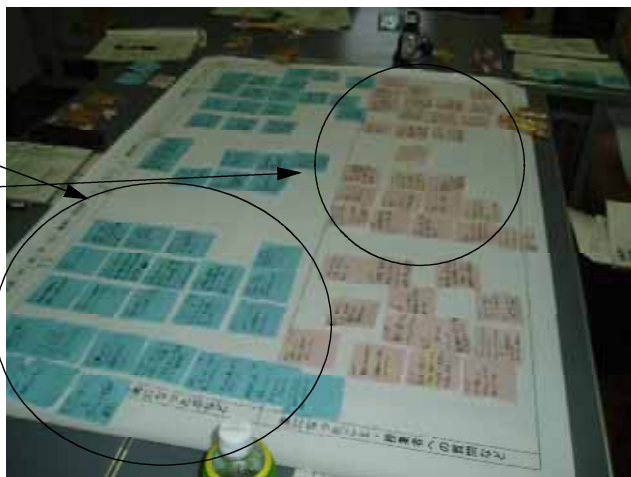
**Action**

**C教諭の設定した授業改善の課題**

- ① 板書の工夫
- ② 思考を促す発問や学習活動の工夫
- ③ ねらいの達成状況の評価の工夫

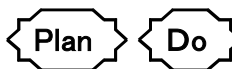
6月の授業研究会において、模造紙に貼り出された付箋

- ◇「導入」の時間帯での、生徒の学習活動は活発であった。
- ◇「展開」と「まとめ」の時間帯での、生徒の学習活動に課題が見出された。



C教諭の課題解決の取組（6月～）

- ①生徒の思考を整理する板書の工夫
- ②発問の質と内容の工夫
- ③ワークシートによる学習内容の振り返り



(3) 11月の公開授業における同僚教師による授業評価

11月の公開授業において、同僚教師には、主に課題解決の取組の①～③に視点を当てて、生徒の様子を見取ってもらいました。授業研究会では、次のようなことが話題になりました。

(振り返りシートに貼り出された付箋の記入例)



	学びが成立している点、参考になる点	気になったこと、授業者に聞きたいこと
導入	授業者の説明をよく聞いて、ノートをとっている。	発問に対して、指名されていない生徒がどの程度考えていたと評価できるか。
展開	解説をよく聞いて理解しようとしている。 生徒の意見や授業者の説明が、板書によく整理されている。	指名の順番が固定されていて、指名されない生徒は思考していないように見える。 生徒は説明をよく聞いているが、授業者は生徒の思考する状況をどのように評価したか。
まとめ	ワークシートに熱心に取り組んでいる。 ワークシートの記入状況によって、学習事項の理解度が概ね評価できる。	ワークシートの解答を生徒に答えさせずに、授業者が説明したのはなぜか？

授業研究会では、授業者と参観者との間で右のような質疑が行われました。C教諭は、6月以降の授業改善の取組の成果や新たな課題を検証しました。

学習事項をワークシートにまとめさせたので、理解度が把握できましたね。

ワークシートの解答を先生が説明したのはなぜですか？

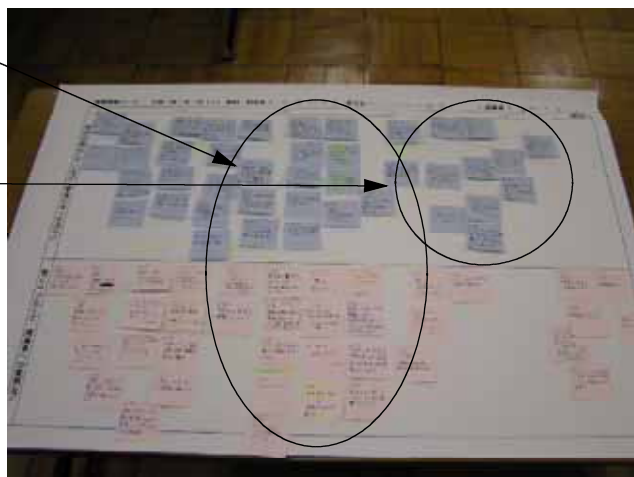
普段はノートにまとめさせていますが、今日は学習内容の定着度を確認するためのワークシートを用意しました。

問いに対する解答はすべて教科書に書いてある内容でしたし、時間的な問題もありました。

### 11月の授業研究会において、模造紙に貼り出された付箋

◇参観者から、指名の仕方に対する指摘があったものの、発問の工夫によって生徒の発言の機会は増えた。

◇ワークシートを取り入れたことで、生徒が学習を振り返る場面ができた。また、授業後にワークシートの記入状況を確認することにより、本時のねらいの達成状況を判断して、次の指導に生かすことができる。



#### 取組の成果

課題①～③の改善

#### 新たな課題

課題④ 評価の工夫

課題⑤ 生徒の思考を

活性化させる発問の工夫

Action

C教諭は、この評価結果をさらなる改善に生かすべく、教科経営にPDCAサイクルを位置づけて、発問や評価の在り方について、引き続き指導の工夫に取り組んでいます。

## ポイント

授業における教師の言動は、年月を経るにつれて習慣化し、固定したものになりがちです。中堅やベテランの教師にとって、授業スタイルや指導法は既に一定の型として身に付いていることが多いでしょう。しかし、だからこそ授業評価を活用して、改めて日頃の指導法について振り返り、指導の改善に生かしていくことが求められます。その中で授業スタイルの優れている点を確認し、改善すべき点を自覚することによって、授業の腕に一層磨きがかかるだけでなく、後進の授業の道しるべとなるでしょう。